

RFMD ニュース

会社連絡先：

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD社、業界最先端のフロントエンド製品ラインを バルセロナの3GSMワールド कांग्रेसで展示

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年2月9日：移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社（ナスダック：RFMD）は本日、GSM/GPRS/EDGE端末および3Gマルチモード端末のすべてに対応するパワーアンプ、送信モジュール、フロントエンド・モジュールの新製品を発売し、フロントエンド・ソリューションにおける首位の座をより強固にしたと発表した。

製品は、デュアルバンドGSM/GPRSのパワーアンプ・モジュールと送信モジュール、4バンドGSM/GPRSのパワーアンプ・モジュールと送信モジュール、4バンドEDGEポーラ変調パワーアンプ・モジュール、4バンド・リニアEDGE送信モジュールなど、対象とするセグメント毎に用意されている。RFMD社には幅広い製品ラインがあるため、顧客は部品点数の削減、総輻射出力（TRP）の向上、最大限の一体化など自社に特有の要件に最もふさわしい製品を選択することができる。

また同社は3Gマルチモード端末用フロントエンド・ソリューションの新製品も発表する。この新ソリューションには、2個のパワーアンプと1個のDC/DCコンバータを一体化した、多地域対応（広帯域）3G移動端末用UMTS送信ソリューションも含まれている。このUMTSソリューションは多地域対応の3Gプラットフォームに最高レベルの効率と最大の柔軟性をもたらす。更にこの新ソリューションには高度に一体化された3種類の（狭帯域）フロントエンド・モジュールも含まれており、これらはそれぞれリージョン1、2、5の各地域に対応するデバイス。これら特定地域対応のUMTSフロントエンド・モジュールはいずれもパワーアンプ、送信用SAWフィルタ、デュプレクサを装備しているため入出力インタフェースの数を減らし、従って3Gマルチモード端末の設計者が直面するシステム・インテグレーションの複雑さを大幅に軽減する。サイズ、コスト、性能のいずれに重点を置く場合でも、RFMD社の新UMTSソリューションはワールドクラスの製品で短い市場投入リードタイムを達成したい場合の有効な選択肢となる。

RFMD社は携帯端末用パワーアンプおよび送信モジュールで世界最大のメーカー。主要エア・インタフェース標準のすべてに対応する幅広い製品ラインを持ち、生産規模のメリットを生かしてあらゆる市場セグメントでコスト上の優位性を確保している。RFMD社は、業界最先端の

フロントエンド製品ラインを2007年2月12～15日にバルセロナで開催される3GSMワールドコングレス 2007 世界会議 (World Congress) に出展する。会場はホール8で、同社のブースは8B79。

RFMD 社について : RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合があります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-K に従ったRF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。
その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###